



No.41 2023-3 発行

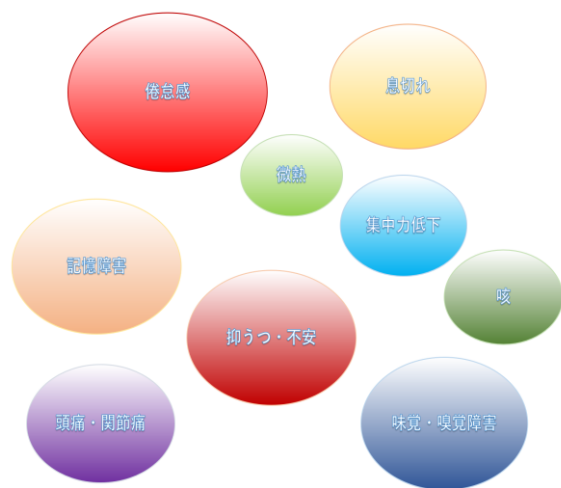
コロナ後遺症外来

総合診療センター長 中橋 毅

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の回復期以降に味覚・嗅覚障害や全身倦怠感などをはじめとする多様な症状が持続的にみられる病態は、新型コロナウイルス感染症後症候群（以下コロナ後遺症）あるいは Long COVID といわれ、WHO はこれを Post COVID19 Condition として「SARS-CoV-2 感染の可能性が高い、または感染が確認された病歴を持ち、COVID-19 発症から3ヶ月の後の時点で症状があり、少なくとも2ヶ月間症状が続き、他の疾患では説明できないもの」と定義しています。石川県では2023年1月時点でおよそ27万人のCOVID19感染症患者が確認されています。そして、COVID-19陽性者のおよそ10~30%には半年後にCOVID-19によると考えられる持続症状がみられると報告されていることから、石川県にも5万人程度のコロナ後遺症をかかえる方がいると推測されます。このため、石川県では県内22の後遺症連携医療機関を指定し、さらにこれらから高度の医療機関へ紹介する医療体制をとっています。そこで金沢医科大学病院でもこれらの患者様にお応えするため総合診療センターに「コロナ後遺症外来」を開設いたしました。

対象者は、COVID-19感染後30日以上経過し急性感染症状がない15歳以上の方で、コロナ後遺症の症状が疑れる方としています。これまでのところコロナ後遺症に多く見られる症状は倦怠感や息切れ、微熱、抑うつや集中力低下、頭痛・関節痛、味覚・嗅覚障害などです。コロナ後遺症外来では、まず総合的な全身の評価を行うとともに、COVID-19以外の原因を除外します。そのうえで必要に応じて専門診療科と連携し診療をすすめてまいります。まだ治療法が確立されていない領域ではありますが、最新の知見を集約して診療にあたっています。

受診を希望される場合は当院総合診療センターまたは当院地域医療連携事務課までお問い合わせください。



コロナ後遺症の主な症状

(問い合わせ先)

〒920-0293 石川県河北郡内灘町大学一丁目一番地

TEL 076-218-8219 FAX 0120-076-286

金沢医科大学病院

地域医療連携事務課

regional@kanazawa-med.ac.jp

Kanazawa Medical University Hospital